



図書館から こんな本を

Vol.247 2024/4/10
甲南女子中高・図書館



新学年のスタート！読書でほっと一息つきましょう。



『みんなのセルフタッチング』

中川れい子 著 141.24/N



「セルフタッチング」—皆さんはこの言葉を聞いたことがあるでしょうか？腕組みや頬杖、合掌…。これらにもストレス軽減などの効果があるようです。コロナ渦を経て、「非接触」が当たり前になりつつある現代社会。「触れること」の大切さについて改めて考えてみては？

『スピノザの診察室』

夏川草介 著 913.6/Natsu



「神様のカルテ」で有名な夏川草介の最新作。今年度の本屋大賞候補作でもあります。舞台は京都。医療ものではありますが、細かい風景描写や人物描写にも注目して読んでみてください。

『MY LITTLE DOGS

：メゾン・テリアの犬モチーフのかわいいお菓子』

横尾かな 著 596.65/Y



お菓子作りと、犬好きが高じてできた1冊。面白いのが、「犬の可愛さに焦点を当てているので、詳しいレシピは掲載していない」という点。見よう見まねであなただけのワンちゃんスイーツを作ってみてください！

『どっち？』

キボリノコンノ 作 P91/K



作者の名前から分かるように、出てくるもの「どっち」かは木でできているのです！よく目を凝らしてみても見破れない緻密な作りに驚かされます。あなたはどちらが木で、どちらが本物か分かるでしょうか…？

『うまくてダメな写真とヘタだけいい写真』

幡野広志 著 ヨシタケシンスケ イラスト 743/H



ヨシタケシンスケさんイラストの表紙が目を引きまね！InstagramなどのSNSでは、「映える写真」が求められる現代。「いい写真はうまい写真じゃない」とあるように、背景が悪くてもピンボケしていても「いい写真」はあるのです。この本を読んで、楽しみながら写真撮影をしてみてもいい？

『心をひらいて、音をかんじて』

：耳のきこえない打楽器奏者エヴェリン・グレニー』

シャノン・ストッカー 文 デヴォン・ホルズワース 絵
中野怜奈 訳 P93/H



音楽が大好きなエヴェリン・グレニーは耳が聞こえません。しかし、音楽の道を諦めず大きな功績を残しました。実際にあったお話です。エヴェリンの姿勢から、「前を向いて突き進もう！」と活力をもらえます。彩り豊かな絵にも注目して読んでみてください。

『令和ブルガリアヨーグルト』

宮木あや子 著 913.6/Miya



「吾輩は乳酸菌である。名前はブルガリア菌20388株。」どこかで聞いたことのあるタイトルと文言ではないでしょうか？ブルガリア菌が「推し」の新入社員・朋太子由寿(ほうだいしゆず)の奮闘劇！

『ものがたり洋菓子店 月と私：ひとさじの魔法』

野村美月 作 913.6/ノ



さまざまな悩みを抱えた人たちが辿り着く、ストーリーテラーがいる洋菓子店「月と私」。
1話ごとについているタイトルを読むだけで顔がほころんでしまう、甘くて優しいお話が詰まった短編集です。